

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
芸術	音楽総合	2	選択履修	R6・3	文系の選択者
使用教科書	なし				
副教材	音楽の鑑賞と基礎学習（教育芸術社）				

1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的な背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2. 学習方法

<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて授業で使用する楽譜等はこちらで準備します。 ・歌唱活動やアンサンブル活動は、パートまたはグループなどをその都度編成し取り組みます。 ・DVD やインターネットなどを活用し、多角的に音楽をとらえながら理解を深めていきます。

3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的な背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。 ・創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	日本の歌曲に親しもう	・歌唱について、曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的な背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。	・歌唱活動において音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。	・主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	5 月	全員合奏にチャレンジ 和楽器に挑戦	・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な知識技能を身に付けている。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚した	・主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

	6月		・様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。	ことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。	
	7月				
2学期	9月	テーマ研究 世界的なアーティストを知ろう	・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに創作表現を創意工夫している。	・主体的・協働的に調べ学習及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	10月				
	11月	キーボードでの演奏にチャレンジ	・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、知識技能を身に付けている。 ・様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。	・主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	12月				
3学期	1月	発表会 一年間のまとめ	・様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	・主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	2月				
	3月				

5. 教科担当者より

- ・教材・筆記用具は毎時間必ず準備をし、忘れ物がないようにしましょう。
- ・授業では、さまざまな題材や楽器を取り入れ、多彩な活動をします。積極的に取り組みましょう。
- ・音楽室には授業で使用する楽器がたくさんあります。丁寧に扱い、後片付けをきちんとしましょう。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
芸術	美術総合	2	選択履修	R6・3	文系の選択者
使用教科書	なし				
副教材	日本・西洋時代別鑑賞 美術の見かた (秀学社)				

1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2. 学習方法

作品制作学習及び鑑賞。各自の作業進度に差があるので、早くできた生徒には、その課題をより深めるための課題を準備。学校行事等の関係で学習項目が入れ替わることあり。

3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	(絵画) ・鉛筆/イラスト・ 写真の模写	・造形の要素の働きを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 ・主題に合った表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表している。	・自然や自己、社会などを深く見詰め感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、主題に応じた表現の可能性について考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練っている。 ・目的や条件などを基に、デザインの社会的な役割について考察して主題を生成し、主題に応じた表現効果を考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練っている。	・主体的に絵画の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 ・主体的にデザインの表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
	5 月	・絵の具/イラスト・写真の模写			
	6 月	(デザイン) レタリングとその応用			

	7月	(デザイン) ・ポスター制作	<ul style="list-style-type: none"> ・造形の要素の働きを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 ・主題に合った表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表している 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や条件などを基に、デザインの社会的な役割について考察して独創的な主題を生成し、主題に応じた表現効果を考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的にデザインの表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
2 学 期	9月	(絵画) 読書感想画	<ul style="list-style-type: none"> ・造形の要素の働きを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 ・主題に合った表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や自己、社会などを深く見詰め感じ取ったことや考えたことなどから独創的な主題を生成し、主題に応じた表現の可能性について考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に絵画の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
	10月				
	11月	(彫刻) ・紙粘土	<ul style="list-style-type: none"> ・造形の要素の働きを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 ・主題に合った表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や自己、社会などを深く見詰め感じ取ったことや考えたことなどから独創的な主題を生成し、主題に応じた表現の可能性について考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に彫刻の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
	12月				
3 学 期	1月	抽象彫刻	<ul style="list-style-type: none"> ・造形の要素の働きを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 ・主題に合った表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や自己、社会などを深く見詰め感じ取ったことや考えたことなどから独創的な主題を生成し、主題に応じた表現の可能性について考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に彫刻の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
	2月				
	3月				

5. 教科担当者より

◎美術の授業について

・高校美術は必ずしも作品づくりばかりではありません。ものを見るための感性をのばし、自分自身の力で深く物事を観察する力を育むために、美術の歴史、技法の学習、鑑賞の方法まで幅広く活動します。

◎美術学習の留意点

- ・「へた」「じょうず」に関係なく、丁寧に最後まで仕上げた方がいい作品になります。
- ・チャイムが鳴る前に授業の準備をしましょう。
- ・道具は作品の命です。大切に扱きましょう。
- ・作品は授業中に完成させるように真剣に取り組みましょう。
- ・完成した作品はあなたの大切な分身です。自宅に持ち帰り飾るなどして鑑賞しましょう。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
芸術	書道総合	2	選択履修	R6・3	文系の選択者
使用教科書	なし				
副教材	墨心（教育出版）				

1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書伸びを味わい深くとらえたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2. 学習方法

①古典や古筆に関する知識事項の理解(講義)
②臨書学習や創作活動による技法の習得(実技)

3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりしている。	・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。

4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	○篆書の学習 「甲骨文」「金文」 〈散氏盤〉	・古典の特徴と用筆・ 運筆との関わりについて理解している。 ・古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。	・表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	5 月	・篆書の臨書と鑑賞 ・篆書による創作と鑑賞			
	6 月	○隸書の学習 「木簡」「開通褒斜道刻石」「西狭頌」 「張遷碑」 ・隸書の臨書と鑑賞	・漢字の書を構成する様々な要素について理解している。 ・漢字の書の特質とその歴史について理解している。	・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わっ	・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組も

	7月			て捉えている。	うとしている。
2 学 期	9月	○楷書の学習 「賀蘭汗造像記」 「鄭義下碑」「建中 告身帖」	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書を構成する様々な要素について理解を深めている。 ・線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり、書の歴史と書論について理解を深めている。 ・書の伝統を踏まえ、楷書の特色を生かして創造的に表現する技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書の古典の表現形式に応じた、主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求している。 ・楷書の古典の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	10月				
	11月	○行書の学習 「書聖王羲之」「温 泉銘」「枯樹賦」「灌 頂歴名」	<ul style="list-style-type: none"> ・行書を構成する様々な要素について理解を深めている。 ・線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり、書の歴史と書論について理解を深めている。 ・書の伝統を踏まえ、行書の特色を生かして創造的に表現する技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の古典の表現形式に応じた、主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求している。 ・行書の古典の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	12月				
3 学 期	1月	○「草書」 「書譜」「十七帖」 「真草千字文」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書を構成する様々な要素について理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現方式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	2月				
	3月				

5. 教科担当者より

書と人とのかかわりは、長い歴史を経て培われ、それぞれ、その時代にふさわしい書の美を展開し、継承してきました。古人がどのように書に取り組んできたかを探ることによって、私たちが現代にふさわしい、個性あふれる書の表現を見出すことができます。書道総合の学習では、日常私たちが使用することのない篆書や隸書、草書などの古い時代の書体にも取り組んでいきます。そのような古典による学習の中で、書の歴史的背景を踏まえ、古典の持つ魅力を味わいながら説得力のある自己表現の幅をさらに広げてほしいと思います。